

1. 法人・事業所理念

Vision — 私たちの目指すもの

地域に暮らす子どもと家族を笑顔に

Mission — 私たちの使命

- 研究成果に基づく療育の実践と啓蒙を行います。
- 高校卒業後の自立・就労に向け、未就学児から高校まで途切れることのない支援を行います。
- 保護者教育および支援者研修により、療育知識と支援スキルを持つ人材を育成します。
- 支援のある社会を、保護者・地域とともにつくります。

2. 支援方針

トータスキップでは、応用行動分析（ABA）を中心とした研究成果に基づく支援を基本とし、一人ひとりの発達段階や特性、生活上の困りごと、本人・ご家族の希望を踏まえて支援を行います。

できないことだけに目を向けるのではなく、「なぜ難しいのか」「どうすればできるのか」を考え、必要な環境調整や支援を行いながら、スモールステップで「できた！」という経験を積み重ねることを大切にしています。

また、「8割楽しく、2割チャレンジ」を基本に、安心して楽しく取り組める環境の中で少しずつ新しいことに挑戦し、自信や自己効力感につなげていきます。

アセスメントに基づいて個別支援計画を作成し、日々の支援記録や評価を通して支援方法を検討・改善します。事業所の中だけで「できる」ことを目標とするのではなく、家庭や園・学校、地域など、実際の生活の中でその力を発揮できることを目指します。

3. 営業時間・送迎

営業時間

平日 10:00～18:00

土曜日 9:00～17:00

送迎：あり（一部のみ）

原則として送迎は行っておりません。

4. 本人支援 — 5 領域に基づく支援

トータスキップでは、「健康・生活」「運動・感覚」「認知・行動」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域を相互に関連するものとして捉えます。

アセスメントに基づき、一人ひとりに必要な支援目標を設定し、個別支援、小集団活動、IT・アート・運動等の活動を組み合わせながら総合的に支援します。

① 健康・生活

日常生活や集団生活に必要な基本的な生活スキルを身につけ、自分でできることを増やしていきます。

主な支援内容

- 来所時の準備、手洗い、片付け等の生活習慣
- スケジュールや手順を確認し、見通しをもって行動する
- 着席、待つ、活動を切り替えるなど、活動参加の基礎づくり

- ・ 自分でできることを増やすための自立支援
- ・ 困ったときに助けを求める、休憩するなどの自己調整
- ・ 学校生活や将来の生活を見据えた生活スキルの獲得

② 運動・感覚

身体の動かし方や手先の操作、感覚特性等に配慮しながら、活動や生活に必要な力を育てます。

主な支援内容

- ・ 粗大運動、微細運動
- ・ 目と手を協応させる活動
- ・ 工作、描画、手芸等を通した手指操作
- ・ 卓球等の運動や身体を使ったレクリエーション
- ・ 本人の感覚特性に応じた環境調整
- ・ 運動やアート等を通した興味・余暇活動の開発

③ 認知・行動

一人ひとりの認知特性や発達段階を踏まえ、「分かる」「見通しがもてる」「自分で取り組める」環境を整えながら、学習や生活に必要な力を育てます。

主な支援内容

- ・ 発達段階に応じた認知課題
- ・ 読み・書き・数など、本人の生活や学習上必要となる課題
- ・ 視覚的な手がかりやスケジュールを活用した理解の促進
- ・ 課題を小さな段階に分けたスモールステップによる支援
- ・ 適切な行動を評価し、「できる」行動を増やす支援
- ・ 困った行動について、その行動が起こる背景や環境との関係を分析した支援
- ・ IT等を活用した課題解決、情報収集、制作活動
- ・ 自分で考え、選択し、行動する経験づくり

④ 言語・コミュニケーション

それぞれのお子さまに合った方法で、自分の要求や気持ち、考えを伝え、人とやりとりする力を育てます。

主な支援内容

- ・ 人からの働きかけに気づき、応じる
- ・ 要求や援助要請を相手に伝える
- ・ 挨拶、質問、報告、会話等のコミュニケーション
- ・ 自分の気持ちや考えを言葉にする
- ・ 相手の話を聞き、意図や気持ちを考える
- ・ 絵カードや視覚的な手がかり等を活用したコミュニケーション支援
- ・ 自分の考えや制作物等を人前で発表する
- ・ 中高生等を対象とした自己理解、自己表現、進路等についての対話

⑤ 人間関係・社会性

人と関わる楽しさや成功体験を積みながら、家庭・園・学校・地域等で必要となる社会的な力を育てます。

主な支援内容

- ・ 支援者との安定した関係づくり
- ・ 友達との遊びや共同活動
- ・ 順番を待つ、ルールを守る、相談するなどの社会的行動
- ・ SST（ソーシャルスキルトレーニング）

- 小集団でのレクリエーションや協働活動
- 相手の立場や気持ちを考える
- 自分の役割を理解し、最後まで取り組む経験
- IT やアート等を活用した共同制作・企画活動
- 発表、イベント、地域との活動等を通して人や社会とつながる経験

5. トータスキッズにおける支援の展開

トータスキッズでは、一人ひとりの発達段階や支援目標に合わせて、個別支援と小集団支援を組み合わせています。

個別支援

アセスメントをもとに、一人ひとりの目標に合わせた課題を設定します。

言語・コミュニケーション、認知・学習、生活・自立、社会性、運動・余暇等から必要な内容を組み合わせ、記録と評価を行いながら支援します。

また、年齢や本人の課題に応じて、SST、不登校・行き渋りへの支援、中高生のコミュニケーションや自己理解等にも取り組みます。

小集団支援「トータスキッズ α」

PC・タブレット等を活用した IT 活動、個別課題、レクリエーション、発表、話し合い、協働活動等を通して、**考える・行動する・関わる力**を育てます。

一人ひとりの課題に取り組む時間と、小集団だからこそ経験できる他者との関わりを組み合わせ、学校生活や将来の社会参加につながる力を育てます。

小集団支援「アートクラス」

絵画、工作、装飾、手芸、デジタルアート、大型制作等、さまざまな表現活動に取り組みます。

「好き」「やってみたい」という気持ちを大切にしながら、新しいことへの挑戦、選択、援助要請、協働、役割分担、作品を完成させる経験等を通して、自信と社会性を育てます。

また、地域で実際に使用されるポスター等の制作に取り組むなど、作品や活動が教室の中だけで完結せず、地域や社会とつながる経験を大切にしています。

6. 家族支援

お子さまへの支援とともに、ご家族が子どもの特性や行動を理解し、家庭での関わりに生かしていけるよう支援します。

主な取組

- 支援終了後のフィードバック
- 家庭での様子や困りごとの聞き取り
- 家庭で実践できる関わり方や環境調整についての助言
- 必要に応じた家庭訪問・個別相談
- ペアレントトレーニング
- 保護者交流・学習機会の提供
- 進路や学校生活等に関する相談
- 必要に応じたきょうだいを含む家族全体の状況を踏まえた支援

7. 移行支援

トータスキッズでは、事業所の中で「できた」ことを、家庭・園・学校・地域、将来の生活へつなげていくことを大切にしています。

主な取組

- 就園、就学、進級、進学等のライフステージの変化を見据えた支援
- 園・学校生活で必要となるスキルの獲得
- 集団生活への参加に向けた支援
- 本人の特性や有効な支援方法の整理
- 必要に応じた園・学校・関係機関との情報共有
- 中高生の自己理解、進路、将来の自立や社会参加を見据えた支援
- 地域活動や実践活動を通した、教室外での経験の拡大

8. 地域支援・地域連携

お子さまが地域の中で安心して生活し、さまざまな人や社会とつながっていけるよう、園・学校・関係機関・地域との連携を大切にしています。

主な取組

- 園・学校との連携
- 相談支援事業所との連携
- 必要に応じた医療・福祉等の関係機関との情報共有
- 保育所等訪問支援との連携
- 地域イベントへの参加・協力
- 地域の店舗・団体等と連携した制作・実践活動
- 子どもたちが地域の中で役割を持つ機会の提供
- 地域に向けた発達支援に関する情報発信、講演・研修等の実施

9. 職員の質の向上に資する取組

支援の質を維持・向上するため、職員研修と日々の支援の振り返りを継続的行います。

主な取組

- 応用行動分析（ABA）等に関する研修
- 発達支援・障害特性に関する研修
- 支援記録やデータに基づく支援方法の検討
- ABC分析等を活用した事例検討
- 支援場面の観察とフィードバック
- 支援事例や動画等を活用した研修
- 虐待防止、身体拘束適正化、権利擁護、安全管理等に関する研修
- 外部研修への参加および事業所内での共有
- 職員間での支援方針・支援方法の共有

10. 主な行事・活動

通常の個別・小集団支援に加え、子どもたちの興味や社会参加につながるさまざまな活動を行います。

主な活動例

- 季節に応じた活動
- 夏祭り等のイベント
- 卓球等の運動・余暇活動
- アート作品の制作・展示
- IT を活用した制作・発表活動
- 地域の店舗・団体等と連携した制作活動
- 地域イベントへの参加・協力
- 子どもたち自身による企画・役割活動

※実施内容は年度や利用児童の状況等により異なります。

11. 支援提供の基本的な流れ

1. 家庭訪問、保護者ヒアリング、行動観察等によるアセスメント
2. 本人・家族の希望とアセスメントに基づく個別支援計画の作成
3. 個別支援計画に基づく支援の実施
4. 日々の支援記録と評価
5. 保護者へのフィードバック
6. 定期的なモニタリングと個別支援計画の見直し
7. 必要に応じた園・学校・相談支援事業所等との連携

トータスキッズでは、5 領域をそれぞれ独立したものとして捉えるのではなく、一つの活動にも複数の領域が関係していることを踏まえ、一人ひとりの生活全体を見ながら総合的な支援を行います。